

● 顕現後第四主日

泉のほとり

今月の詩編「第五十三編」

どうかイスラエルの救いが

シオンから起こるように。

神が御自分の民、捕らわれ人を連れ帰るとき

ヤコブは喜び踊り

イスラエルは喜び祝うであろう



真つ直ぐに生きたヨセフ

箴言には「人は心に多くの計画を抱く。しかし、主の御旨だけがなる」と教えられています。人が立てた計画や、心にはなく、神の御心、ご計画が実現するとの教えです。ヨセフの生涯を通して、人の計画ではなく、神の約束、ご計画だけが実現していくのを見ることが出来ます。

ヨセフは父ヤコブから大変可愛がられていたために、兄たちから妬まれ、憎まれていました。更にヨセフが見た夢の話を聞き、彼らはヨセフを殺す計画を立てて、捕らえ、エジプトに売り飛ばしました。役人に買い取られないのです。しかし彼は神を離さず、神と共に歩んで生きます。神を恐れ、与えられた務めを誠実に、主人に仕え、主人の妻から誘われても断り、主人に真実を尽くすのです。ところが、無実の罪で牢獄に閉じ込められます。まさにどん底。牢獄から抜け出される気配もないのです。何の希望も持てない境遇の中、彼は神を信じ、神と共に歩む信仰が揺らぐことはないのです。

ヨセフはエジプト王ファラオに呼び出され、彼の夢を解き明かします。大豊作と飢饉が起こると。できる限り穀物を蓄えておくよう進言しました。ファラオは感心し、ヨセフを大臣に立てます。大豊作の時、ヨセフは穀物を集め、彼の働きによつて多くの命が救われます。奴隷、囚人となつても、大臣となつても、真つ直ぐに生きるヨセフは光輝くのです。

大飢饉の時、カナンに住んでいたヤコブはエジプトに食料が蓄えてあると知り、息子たちをエジプトに遣わします。そして二度目に来た時、ヨセフは兄たちに身を明かした上、「わたしをここに遣わしたのはあな

たたちではなく、神です」と語るのです。自分をエジプトに売り飛ばした兄たちを責めず、神がわたしを遣わしたと言ふのです。更に、彼はヤコブも兄たちも、その親族もエジプトに呼び寄せ、養うのです。飢える一族を思いやり、その命を生かし、全滅の危機から救い出すのです。イスラエルは絶えることなく、エジプトで増え続けます。

かつて神はアブラハムに「あなたを大いなる国民とする」。更に「あなたの子孫は外国へ移住する」と約束されました。神はその約束、ご計画を成し遂げるために、ヨセフを前もつてエジプトに遣わしました。兄たちの妬み、憎しみゆえの計画、彼を売り飛ばした悪しき振る舞いをも用いられました。しかし、彼らを喜ばれているわけではなく、罪と悪には必ず報いがあります。その御心の中で、神は彼らの悪をも善に変え、ご自分の約束、計画の実現に用いられたのです。その一方、ヨセフは自分の計画を立てることなど、一切でまみませんでした。神のご支配、神の導きの中を、一筋に神と共に歩み続けました。誰に対しても真実を尽くし、どこに置かれても、何をしても、神の前を真つ直ぐに生き抜いたのです。その彼がイスラエルの救いに、神に用いられたのです。悪しき事柄も、信仰による良いわざも、全てを用いられ、ご自分の御心を成し遂げられる神がおられます。

ヨセフのような光輝く姿、揺るぎない信仰を手に入れる希望があります。神は信仰を求めらるるものに、応えてくださる方です。どのような境遇に置かれても、神を離さない、神と共に歩み続ける。与えられた隣人に真実を尽くし、自分の務めを誠実に、神の前を真つ直ぐに生きる信仰を目指していきましょう。その信仰を手に入れ、わたしも神に用いられていきたいとの願いをもつて歩んでいきたいと思ひます。

(使徒七・九 一六 宮間 彰広兄)

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○礼拝後、讚美集会和信仰者たちに学ぶ会を地下ホールで行います。聖書、讚美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○役員候補者推薦のための役員会をカナルームで行います。役員の方はお集まりください。役員候補者推薦の投票は一三時締切です。それまでに投票用紙を事務所にある投票箱にお入れください。

○運営委員会、各小委員会をそれぞれ行います。

○イースターに受洗転入会をご希望の方は、二月一六日までに牧師宛願書をご提出下さい。願書は事務所にあります。

○七日(金)附属幼稚園のお別れ遠足があります。八景島シーパラダイスに行きます。黄牧師と宮間兄が行きます。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《教育奉仕委員会より》

次週二月九日の主日礼拝後、地下ホールで「わたしの愛唱讚美歌をみんなで一緒に」と題して、交わりの会をもちます。讚美歌をお持ちになって、どうぞお集まりください。約三〇分の短い時間ですが、楽しいひとときをご一緒にしましょう。

《コイノニア教育センター

有志の会より》

本日、子ども礼拝、主日礼拝の後、それぞれ三〇分ほど、ケニアのコイノニアグッズを販売いたします。色鮮やかなバッグやポーチ、バレンタインデーに向けておいしいスイーツも少しあります。場所はディアコニアショップの前です。お待ちしております。

《味噌作りの会より》

二月一七日(月)地下のキッチンで味噌作りを行います。ご興味のある方はご参加ください。昼食にはお味噌汁がつきますので、おにぎりなどをお持ちください。ご不明なことがございましたら、日比野靖子姉までお尋ねください。

《交読詩篇》

※会衆は太字を唱和します。

【詩篇九十二篇】

賛歌。歌。安息日に。

いかに楽しいことでしょう

主しゅに感謝かんしゃをささげることがは

いと高たかき神かみよ、御名おんなをほめ歌うたい

朝あさごことに、あなたあなたの慈あはれしみを

夜よごことに、あなたあなたのまことを述べ伝えることは

十じゅう弦げんの琴ことに合わせ、堅い琴こに合わせ

琴ことの調しらべべに合あわせて。

主しゅよ、あなたあなたは

御業おんわざを喜よろこび祝いわわせてくださいます。

わたしは御手おんての業わざを喜よろこび歌うたいます。

主しゅよ、御業おんわざはいかに大きおほく

御計おんはかりらいは、いかに深ふかいことでしょう。

愚おろかな者ものはそれを知しることなく

無知むちな者ものはそれを悟さとろうとしません。

神かみに逆さからう者ものが野のの草くさのように茂さかり

悪あくを行なう者ものが皆みな、

花はなを咲さかせるように見みえても

永えい遠えんに滅めつぼされてしままいます。

主しゅよ、あなたあなたこそ、永えい遠えんに高たかくくいます方かた。

主しゅよ、あなたあなたに敵てき対たいする者ものは必かなず

あなたあなたに敵てき対たいする者ものは、必かなず滅めつび

悪あくを行なう者ものは皆みな、散ちらされて行いきます。

あなたあなたはわたしわたしの角つのを野牛のうしのように上あげさせ

豊ゆたかな油あぶらを注そそぎかけてくださることでしょう

わたしわたしを隔へれようとすする者ものをこの目めで見

悪あく人ひとがわたしわたしに逆さからつて立たつのを

この耳みみで聞きいているときにも。

神かみに従したがう人ひとはなつめやしやしのように茂さかり

レバノンの杉すぎのようにそびえまます。

主しゅの家に植うえられ

わたしわたしたちの神かみの庭にわに茂さかります。

白しろ髪かみになつてもなお実みを結むすび、

命いのちに溢あふれ、いきいきとし

述いべ伝つたえるでしょう

わたしわたしの岩いわと頼たのむ主しゅは正ただしい方かた

御みもとには不正ふたぎがない、と。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「神さまが戦われる」

聖書 士師記7章1〜6節

説教者 吉村 和雄 牧師名譽

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「見捨てず、離れない」

聖書 ルツ記1章15〜19 a節

説教者 宮間 彰 広 兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讚美歌 16番 336番

説教 「何を成し遂げて生きようか」

聖書 ヨハネ19章17〜30節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 18番 285番
説教 「人を恐れず、神を恐れる」
聖書 ヨハネ19章1～16節(新約 P.206)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「全能の神の偉大さよ」F.メンデルスゾーン

○讃美歌18番

1. せいなる御神は この殿にいます
ああとうときかな
みひかりをまとい、みちからを帯びて
みくらに座したもう
そのみさかえこそげにたぐいなければ
2. すくいのみ神は この殿にいます
ああかしこきかな
われらのつみとが ことごとゆるして
みもとに召したもう
そのみめぐみこそげにかぎりなければ
3. いのちのみかみは この殿にいます
ああたえなるかな
きよきよろこびと おののきとをもて
みまえにぬかずき
おがみまつこそ こよなきさちなれ
アーメン

○聖歌隊による讃美

「あめなるよろこび」 (讃美歌352番)

1. あめなるよろこび こよなき愛を
たずさえくだれる わが君イエスよ
救いのめぐみを あらわに示し
いやしきこの身に 宿らせたまえ

2. 命を与うる 主よとどまりて
われらの心を とこ宮となし
朝(あした)に夕べに 祈りをささげ
たたえの歌をば 歌わせたまえ
3. われらをあらたに つくりきよめて
さかえにさかえを いや増しくわえ
み国にのぼりて み前に伏す日
み顔の光を 映させたまえ
アーメン

○讃美歌285番

1. 主よ、み手もて ひかせたまえ
ただわが主の 道をあゆまん
いかに暗く けわしくとも
みむねならば われいとわじ
2. ちからたのみ 知恵にまかせ
われと道を えらびとらじ
ゆくてはただ 主のまにまに
ゆだねまつり 正しくゆかん
3. 主よ、飲むべき わがさかずき
えらびとりて さずけたまえ
よろこびをも かなしみをも
みたしたもう ままにぞ受けん
4. この世を主に ささげまつり
かみのくにと なすためには
せめもはじめ 死もほろびも
何かはあらん 主にまかせて
アーメン

聖餐曲「天に在します我らの父よ」G.バーム

後奏曲「フーガ ハ長調」D.ブクステフデ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。